

# 平成24年度 情報処理学会関西支部 支部大会 プログラム

日時：2012年9月21日（金）10：00～16：45  
場所：大阪大学中之島センター 2、3、4、7 階

## 特別講演一覧

■ 並列分散処理／10:00～11:00 <7F講義室703>

### 「京速コンピュータ「京」のシステム概要と利用環境」

【講演概要】

京速コンピュータ「京」は、10ペタフロップスという現在世界2位の計算性能を持つスーパーコンピュータである。今年の6月に完成を迎え、9月末より共用が開始される予定である。本講演では、そのような高い計算性能を実現した「京」のシステム(ハードウェア)と、その性能を最大限に引き出すアプリケーション開発を可能にする利用環境(ソフトウェア)について述べる。

講師: 村井 均 氏 独立行政法人 理化学研究所 計算科学研究機構 運用技術部門 開発研究員

1996年3月 京都大学大学院工学研究科情報工学専攻修士課程修了。  
1996年4月～2010年3月 NEC. C&C研究所、コンピュータソフトウェア事業部に所属し、並列化コンパイラの研究開発に従事。その間、2002年1月～2005年3月 海洋研究開発機構 地球シミュレーションセンターへ出向、2010年3月 筑波大学大学院システム情報工学研究科コンピュータサイエンス専攻博士課程修了。  
2010年4月 理化学研究所に入所、次世代スーパーコンピュータ開発実施本部に配属。現在、計算科学研究機構 プログラミング環境研究チームにてHPC向けプログラミング環境の研究に従事するとともに、同運用技術部門にて京速コンピュータ「京」の運用に従事する。



■ ソフトウェアとアルゴリズム／13:15～14:15 <3F 講義室304>

### 「論理制約ソルバを用いたプログラムの事前条件推定」

【講演概要】

ソースコードからの仕様の自動推定(仕様発掘)は、人間が書く不完全な仕様を補完する技術であり、プログラム理解やテスト、形式検証などに応用可能な技術として古くから研究されている。ここではその仕様の一部として、プログラムの事前条件を推定する新たな手法を紹介する。具体的には、事前条件を構成する述語の集合を予め与え、その組み合わせの中で、事前条件として成立する極小なものを、近年発展してきたSAT/SMTといった論理制約ソルバを使って求める。これにより、人間にとって可読性が高く、かつ十分に弱い(一般的な)事前条件が推定できる。

講師: 今井 健男 氏 株式会社東芝 研究開発センター システム技術ラボラトリー 研究主務

1998年 大阪大学基礎工学部情報工学科卒、2000年 東京大学大学院理学系研究科修士課程了。  
同年 株式会社東芝入社。2003-2006年(株)インターデザイン・テクノロジー エンジニア、2007年 マサチューセッツ工科大学 客員研究員などを経て現職。  
東芝入社時よりソフトウェア工学の研究に従事。現在は特に、形式手法、ソフトウェアテストなどのソフトウェア高信頼性の研究に興味を持つ。



■ 言語情報処理／15:45～16:45 <7F講義室703>

### 「災害とインターネット 東日本大震災からの教訓」

【講演概要】

東日本大震災においてはインターネット上でも様々な支援活動が行われた。本講演では筆者のグーグルにおける経験にもとづき、今後の災害対策においてインターネットが果たしうる役割、およびその実現へ向けてなすべきことを概観する。

講師: 賀沢 秀人 氏 グーグル株式会社 シニア エンジニアリング マネージャ

1997年 3月 東京大学大学院理学系研究科 修士課程修了  
1997年 4月 日本電信電話株式会社 コミュニケーション科学基礎研究所研究員  
2006年 9月 奈良先端科学技術大学院大学 博士課程修了(工学博士)  
2006年10月 グーグル株式会社 機械翻訳・ウェブ検索開発担当エンジニア。東日本大震災Googleクライシスレスポンスチームの一員として、各種災害対策システムの開発に従事。



※○は登壇者、◎は学生奨励賞対象登壇者、★はキャリアエクスプローラー

**A:ものづくり基盤コンピューティング 会場: 4F 講義室406**

講演番号	発表題目	著者
13:15~14:00 ◆ものづくり基盤コンピューティング <座長:神原 弘之(京都高度技術研究所)>		
A-01	Acceleration of Seed Ordering and Selection For High Quality VLSI Delay Test	○Ratna Aisuwarya, Yuta Yamato, Tomokazu Yoneda, Kazumi Hatayama, Michiko Inoue (NAIST)
A-02	LSIのテストパタンのIRDロップ見積り手法	◎秋吉 保紀、大和 勇太、米田 友和、畠山 一実、井上 美智子 (奈良先端科学技術大学院大学)
A-03	JavaスレッドへのLinuxのスケジューリングを活用するための機能の提供	○篠本 一昌、芝 公仁 (龍谷大学)

※○は登壇者、◎は学生奨励賞対象登壇者、★はキャリアエクスプローラー

**B:ソフトウェアとアルゴリズム 会場: 3F 講義室304**

講演番号	発表題目	著者
11:30~12:00 ◆ソフトウェアとアルゴリズム1 <座長:山口 一章(神戸大学)>		
B-01	ソフトウェア開発のグループワーク演習における各個人のタスクの自動計測	○五田 篤志、井上 知奈津、大堂 哲也、福本 大、玉田 春昭 (京都産業大学)
B-02	メンタルシミュレーションモデルに基づいたプログラムの読みやすさ評価	○吉岡 智哉、福田 収真、玉田 春昭 (京都産業大学)
休憩(12:00~13:15)		
13:15~14:15 ◆ソフトウェアとアルゴリズム 特別講演 <座長:岡野 浩三(大阪大学)>		
「論理制約ソルバを用いたプログラムの事前条件推定」 今井 健男 (株式会社東芝)		
休憩(14:15~14:30)		
14:30~15:15 ◆ソフトウェアとアルゴリズム2 <座長:玉田 春昭(京都産業大学)>		
B-03	階層グラフの直交描画における線分座標決定	◎★荒木 徹也、増田 澄男、山口 一章 (神戸大学)
B-04	SeqBDDIにおける最長共通部分列・部分文字列アルゴリズム	○伊藤 洋平、青木 洋士、山下 茂 (立命館大学)
B-05	最大重みクリーク抽出法における分枝順序の検討	○★森中 諒太、清水 悟司、山口 一章、増田 澄男 (神戸大学)

※○は登壇者、◎は学生奨励賞対象登壇者、★はキャリアエクスプローラー

**C:社会知能 会場: 4F 講義室406**

講演番号	発表題目	著者
10:00~10:30 ◆社会知能 <座長:住岡 英彦(ATR)>		
C-01	解の遺伝子表現に区間値やファジィ値を用いた区間・ファジィ進化計算手法の提案	○岡田 英彦 (京都産業大学)
C-02	区間値遺伝子を用いた区間GAによるニューロエボリューション	○松瀬 高志、和田 哲也、山下 彬、岡田 英彦 (京都産業大学)

**D: 並列分散処理 会場: 7F 講義室703**

講演番号	発表題目	著者
<b>10:00~11:00 ◆ 並列分散処理 特別講演 &lt;座長:岡部 寿男(京都大学)&gt;</b>		
<b>「京速コンピュータ「京」のシステム概要と利用環境」</b>		
<b>村井 均 (独立行政法人 理化学研究所)</b>		
休憩(11:00~11:15)		
<b>11:15~12:00 ◆ 並列分散処理1 &lt;座長:井上 美智子(奈良先端科学技術大学院大学)&gt;</b>		
D-01	分散GPGPUフレームワーク『ParaRuby』を用いた分散処理実装とその性能評価	◎★久原 拓也、中村 涼、吉見 真聡、三木 光範、廣安 知之 (同志社大学)
D-02	Hadoopの性能ボトルネックを特定するための実行トレース可視化ツール	◎古谷 達朗、置田 真生、萩原 兼一(大阪大学)
D-03	P2Pファイル共有ネットワークを利用したフラッシュクラウド耐性のある協調型負荷分散手法	◎★岡本 大樹、岡部 寿男(京都大学)
休憩(12:00~13:15)		
<b>13:15~13:45 ◆ 並列分散処理2 &lt;座長:伊野 文彦(大阪大学)&gt;</b>		
D-04	Votingを用いた分散システムの可用性の最大化	松井 佑記、小島 英春、○土屋 達弘(大阪大学)
D-05	GPUを用いたレイトレーシングの高速化	○増田 匠吾、山田 遼、孟 林、山崎 勝弘(立命館大学)

**E: ネットワークサービス1~5 会場: 3F 講義室301**

講演番号	発表題目	著者
<b>10:00~11:00 ◆ ネットワークサービス1 &lt;座長: 塚田 晃司(和歌山大学)&gt;</b>		
E-01	実世界の「もの」と関連づけたアイデアの共有による発想支援システムの開発	◎松原 嘉那子、吉野 孝(和歌山大学)
E-02	電子会議で使用する発想法の時間短縮に向けたアイデア発生時系列の基礎的な研究	◎五郎丸 秀樹、爰川 知宏(和歌山大学)、由井 隆也(北陸先端科学技術大学院大学)、東 孝行、伊藤 淳子、宗森 純(和歌山大学)
E-03	ライフログ記事作成システムにおける記事の更新情報が記事作成者に与える効果の検証	◎長田 伊織、吉野 孝(和歌山大学)
E-04	ゼミ活動データを用いた研究議論支援システムの提案	◎赤川 龍之介、由井 隆也(北陸先端科学技術大学院大学)
休憩(11:00~11:15)		
<b>11:15~12:00 ◆ ネットワークサービス2 &lt;座長: 由井 隆也(北陸先端科学技術大学院大学)&gt;</b>		
E-05	モノにつけたセンサーのデータからの行動・イベント推定 – その課題と解析ツール –	◎伊藤 翔、角所 考、岡留 剛(関西学院大学)
E-06	楽WALK: スマートフォンを用いた歩行時心拍数推定システム	◎隅田 麻由(奈良先端科学技術大学院大学)、水本 旭洋(NAIST、日本学術振興会特別研究員DC)、安本 慶一(奈良先端科学技術大学院大学)
E-07	様々なセンサを利用する位置行動検出システムの設計支援環境	◎金谷 拓実、廣森 聡仁、山口 弘純、東野 輝夫(大阪大学)
休憩(12:00~13:15)		
<b>13:15~14:15 ◆ ネットワークサービス3 &lt;座長: 須山 敬之(NTT)&gt;</b>		
E-08	未来の在室を予報する在室管理システムにおける推測手法の比較	◎田中 優斗、福島 拓、吉野 孝(和歌山大学)
E-09	レーザレンジスキャナと携帯端末による位置ナビゲーション手法	◎★和田 悠佑、山口 弘純、東野 輝夫(大阪大学)
E-10	圧力センサを用いた対戦型ゲーム向け感情共有システム	◎宗森 純、萬谷 僚太、伊藤 淳子(和歌山大学)
E-11	センサーデータストリーム配信における通信負荷分散方式に関する一考察	◎義久 智樹(大阪大学)、寺西 裕一(情報通信研究機構)
休憩(14:15~14:30)		
<b>14:30~15:45 ◆ ネットワークサービス4 &lt;座長: 義久 智樹(大阪大学)&gt;</b>		
E-12	全国共同研究施設における情報セキュリティについて	◎平井 康博、大西 克実、中野 秀男(大阪市立大学)
E-13	日本人と外国人の絵文字チャット会話の相違点	◎宗森 純、伊藤 淳子(和歌山大学)
E-14	文化差判定コーパス構築におけるクラウドソーシング利用の検討	◎吉野 孝(和歌山大学)、宮部 真衣(東京大学知の構造化センター)
E-15	ゼミナール支援システムRemoteWadaman-Webの開発	◎坂田 奈穂美、伊藤 淳子、宗森 純(和歌山大学)
E-16	iTouchを用いたフィールドワーク型アイデア発想の評価	王 浩、◎由井 隆也(北陸先端科学技術大学院大学)
休憩(15:45~16:00)		
<b>16:00~16:30 ◆ ネットワークサービス5 &lt;座長: 山口 弘純(大阪大学)&gt;</b>		
E-18	PoEにおけるオンデマンド型電力供給のためのリンク層探索プロトコルの拡張	◎横島 誠也、前田 朋孝、岡部 寿男(京都大学)
E-19	家庭内EoDにおける制御ルール数削減のためのルール変換方式	◎義久 智樹(大阪大学)、藤田 直生、塚本 昌彦(神戸大学)

※○は登壇者、◎は学生奨励賞対象登壇者、★はキャリアエクスプローラー

**E: ネットワークサービス6, 7 会場: 3F 講義室304**

講演番号	発表題目	著者
<b>10:00~11:00 ◆ ネットワークサービス6 &lt;座長: 宗森 純(和歌山大学)&gt;</b>		
E-20	携帯電話通信量の削減を目指した車車間通信による道路交通情報共有の評価	◎★安達 佳明、梅津 高朗、山口 弘純、東野 輝夫(大阪大学)
E-21	Service Defined Network (SvDN) によるL2ネットワークの自動設定	◎寺本 泰大、岡部 寿男(京都大学)、新 麗(株式会社 IJ インベーションインスティテュート)
E-22	スマートフォンを用いた協調モニタリングのためのミドルウェア	○森 駿介(大阪大学)、Yu-Chih Wang(Department of Computer Science National Tsing Hua University, Taiwan)、梅津 高朗、山口 弘純、東野 輝夫(大阪大学)
E-23	災害時救命率最大化のための深さ制限探索を用いた治療計画法の提案	○櫻山 文香、内山 彰、東野 輝夫(大阪大学)
<b>休憩(11:00~15:45)</b> (※11:30~15:15までは同会場で「ソフトウェアとアルゴリズム」の講演を行います)		
<b>15:45~16:45 ◆ ネットワークサービス7 &lt;座長: 廣森 聡仁(大阪大学)&gt;</b>		
E-25	グラフを用いたトラフィックデータ参照システム	井尾 明日香、○川橋 裕(和歌山大学)
E-26	情報収集型サーバにおける複数TCP セッション間の協調によるQoS制御の評価	○坂尻 康隆、谷川 陽祐、戸出 英樹(大阪府立大学)
E-27	コンテンツ流通網におけるキャッシュノードの過負荷を抑制する誘導情報制御方式の検討	○柿田 将幸、谷川 陽祐、戸出 英樹(大阪府立大学)
E-28	OpenFlow技術を用いたデータセンタネットワークにおける消費電力量削減のためのフロー最適化	◎★津田 徹、市川 昊平、猪俣 敦夫、藤川 和利(奈良先端科学技術大学院大学)

※○は登壇者、◎は学生奨励賞対象登壇者、★はキャリアエクスプローラー

**F: 言語情報処理 会場: 7F 講義室703**

講演番号	発表題目	著者
<b>14:00~15:30 ◆ 言語情報処理 &lt;座長: 橋本 力(NICT)&gt;</b>		
F-01	Webページにおける文化差可視化システムの開発	◎諏訪 智大(和歌山大学)、宮部 真衣(東京大学)、吉野 孝(和歌山大学)
F-02	自動獲得した連想概念知識に基づく談話構造解析と語義曖昧性解消	◎進 義治、黒橋 禎夫(京都大学)
F-03	質問応答システムにおける曖昧な質問文の補完のための対話処理	◎油井 宣明、山西 良典、福本 淳一(立命館大学)
F-04	機械翻訳を用いた、古文・現代文間の統計翻訳	○一色 克将、山本 博史(近畿大学)
F-05	災害時情報への質問応答システムの適用	○風間 淳一、Stijn De Saeger、鳥澤 健太郎、後藤 淳、István Varga(情報通信研究機構)
F-06	災害関連ツイート要望・対応策マッチングコーパスの作成	○佐野 大樹、István Varga、風間 淳一、橋本 力、鳥澤 健太郎(情報通信研究機構)
<b>休憩(15:30~15:45)</b>		
<b>15:45~16:45 ◆ 言語情報処理 特別講演 &lt;座長: 橋本 力(NICT)&gt;</b>		
<b>「災害とインターネット 東日本大震災からの教訓」</b> 賀沢 秀人 (グーグル株式会社)		

**G:メディア・インタラクション1, 2 会場:4F 講義室406**

講演番号	発表題目	著者
<b>10:45~12:00 ◆メディア・インタラクション1 &lt;座長:岩井 大輔(大阪大学)&gt;</b>		
G-01	スマートフォンを利用した簡易ムービーコンテンツ制作支援	◎中島 潤耶、岡本 祥宏、岡留 剛(関西学院大学)
G-02	写真中の文字を利用したタイポグラフィ創作支援システムの開発	◎倉長 拓海、吉野 孝(和歌山大学)
G-03	迷いやすい人の特徴を考慮した屋内ナビゲーションシステムの開発	◎奥村 賢悟、吉野 孝(和歌山大学)
G-04	広大なディスプレイ環境におけるウィンドウ操作支援	◎★久保 和樹、山本 豪志朗、武富 貴史、浦西 友樹、宮崎 純、加藤 博一(奈良先端科学技術大学院大学)
G-05	ローカル・ラグ制御機能と同期機能を持つ音響サーバの性能評価	◎岩原 正典、竹森 幸輝、前田 佳奈、片桐 滋、大崎 美穂(同志社大学大)
<b>休憩(12:00~14:30)</b> (※13:15~14:00までは同会場で「ものづくり基盤コンピューティング」の講演を行います)		
<b>14:30~15:45 ◆メディア・インタラクション2 &lt;座長:浦西 友樹(奈良先端科学技術大学院大学)&gt;</b>		
G-06	階層化NFTGと夜間歩行者姿勢推定への応用	◎前淵 啓材、呉 海元、和田 俊和(和歌山大学)
G-07	Webカメラを用いたPCユーザ作業時間の自動測定	◎宮崎 亮輔、阿部 孝司(近畿大学)、南 昌秀(金沢学院大学)
G-08	3Dオンラインゲームのプレイログによる自動漫画生成:インタラクティブGEによるカメラワーク決定手法	◎植田 大智、Ruck Thawonmas(立命館大学)
G-09	自動漫画生成システムにおけるGEを用いたコマ割り生成手法	◎福本 亮、Ruck Thawonmas(立命館大学)
G-10	ツープビューからの顔画像からの3Dモデルの自動化	◎★圓城 達也、呉 海元(和歌山大学)



G:メディア・インタラクション3~7

会場:7F 講義室702

講演番号	発表題目	著者
<b>10:00~11:00 ◆メディア・インタラクション3 &lt;座長:灘本 明代(甲南大学)&gt;</b>		
G-11	単語位置を考慮した 単語単位で行う Web テキストの内容抽出に対する一考察	◎北原 沙緒理、波多野 賢治(同志社大学)
G-12	簡易脳波計を使用した脳波のライフログに関する研究	◎清水 俊光、大西 克実、中野 秀男(大阪市立大学)
G-13	RDF を利用した和歌データベースの構築	◎白井 涼子、波多野 賢治(同志社大学)
G-14	位置情報付きツイートに基づく地理的ユーザプロファイリング手法の提案	◎★今井 規善、奥 健太、服部 文夫(立命館大学)
休憩(11:00~11:15)		
<b>11:15~11:45 ◆メディア・インタラクション4 &lt;座長:河合 利幸(大阪電気通信大学)&gt;</b>		
G-16	ARを用いたコンセントプラグを抜く習慣付け支援システムの開発	◎森田 沙奈、吉野 孝(和歌山大学)
G-17	複数の携帯型プロジェクタによる投影面合成時の相対的色補正	◎★有田 千紘、山本 豪志朗、浦西 友樹、武富 貴史、宮崎 純、加藤 博一(奈良先端科学技術大学院大学)
休憩(11:45~13:15)		
<b>13:15~14:15 ◆メディア・インタラクション5 &lt;座長:野宮 浩揮(京都工芸繊維大学)&gt;</b>		
G-18	環境照明下における布のレンダリング	◎水谷 一貴、岩崎 慶(和歌山大学)
G-19	ボリューム表現されたオパールモデルにおける散乱光と回折光計算の改善	◎小森 淳矢、河合 利幸(大阪電気通信大学)
G-20	オリエンタリング競技のトレーニングシステムOSIMIにおける表示方式の改善	◎加納 秀明、河合 利幸(大阪電気通信大学)
G-21	プロダクトフォトマッピング法による人体皮膚モデル描画時の標準化手法	◎鎌谷 俊秀、河合 利幸(大阪電気通信大学)
休憩(14:15~14:30)		
<b>14:30~15:30 ◆メディア・インタラクション6 &lt;座長:波多野 賢治(同志社大学)&gt;</b>		
G-22	局所自己相関特徴や感性作用素を用いた画像の特徴量からの感性の因子得点の推定法	◎嶋野 雅支、寶珍 輝尚、野宮 浩揮(京都工芸繊維大学)
G-23	色差情報を用いたカラー動画の高速類似検索	◎森近 優人、寶珍 輝尚、野宮 浩揮(京都工芸繊維大学)
G-24	時空間GISを利用した阪神・淡路大震災における住民特性分析の試み	◎★影山 大、辻 光宏(関西大学)
G-25	ニュースに対するつぶやきの感情分析	◎★若井 祐樹(甲南大学)、熊本 忠彦(千葉工業大学)、灘本 明代(甲南大学)
休憩(15:30~15:45)		
<b>15:45~16:30 ◆メディア・インタラクション7 &lt;座長:奥 健太(立命館大学)&gt;</b>		
G-26	個人の写真集合に基づく人間関係のコミュニティ分割	◎捧 隆二、中村 聡史、田中 克己(京都大学)
G-28	オンラインショッピングサイトにおけるレビューを用いた商品対の目的判定による商品推薦	◎★本田 達也、北山 大輔、角谷 和俊(兵庫県立大学)
G-29	ICTを用いた同期型遠隔授業の提案	◎★広田 高雄、大西 克実、中野 秀男(大阪市立大学)

ポスター発表 会場:2F 講義室201

講演番号	発表題目	著者
12:30~14:30 ◆ テーマ複合 (B:ソフトウェアとアルゴリズム、C:社会知能、D:並列分散処理、E:ネットワークサービス、F:言語情報処理)		
B-101	ある最大重みクリーク抽出法における頂点集合の効率的な実装方法の提案	◎★清水 悟司、森中 諒太、山口 一章、増田 澄男(神戸大学)
C-101	ファジ値遺伝子を用いたファジESによるニューロエボリューション	○和田 哲也、○山下 彬、松瀬 高志、岡田 英彦(京都産業大学)
C-102	区間値遺伝子を用いた区間ESによるニューロエボリューション	○山下 彬、松瀬 高志、○和田 哲也、岡田 英彦(京都産業大学)
C-103	ロボットによる終助詞「よ」「ね」の意味獲得:「終助詞の意味」を「発話に対する適切な行動」であると捉える立場から	◎大上 涼麻、松岡 啓、荒木 修、柴田 諒子、高岡 勇紀、土坂 恭斗、呉 霞、深田 智、尾関 基行、岡 夏樹(京都工芸繊維大学)
D-101	GPUを用いた空間分割によるリアルタイムレイトレーシングの検討	◎★岡崎 大輔、孟 林、山崎 勝弘(立命館大学)
E-101	スマートフォン搭載照度センサの集合知による歩道属性情報生成システムの開発	○松田 裕貴、新井 イスマイル(明石工業高等専門学校)
E-102	気圧センサと標高・気象データを用いた移動経路推定手法の検討	○岩波 慶一郎、新井 イスマイル(明石工業高等専門学校)
F-101	社会知を還元するクラウド型データベース「INSIGHTBOX」の構築	○馬場 彩子、○木虎 直樹、○谷田 泰郎、後迫 彰(シナジーマーケティング株式会社)、井上 哲浩(慶応義塾大学)、加藤 卓(シナジーマーケティング株式会社)
F-103	絵本テキストにおける高頻度語彙の分析	○平 博順、藤田 早苗、小林 哲生(NTT コミュニケーション科学基礎研究所)

★キャリアexplorerマークについて

著者名の先頭に付いている★マークはキャリアexplorerマークです。  
 情報処理学会関西支部では、本大会が就職を控えた学生やポスドクを始めとする求職側と、企業・大学・研究所などの求人側との出会いの場となるよう、キャリアexplorerマーク(以下CEマーク)を導入しています。発表者である求職中のポスドクまたは学生が、本人の希望により、CEマークを大会プログラムや発表スライド、ポスターに書き記しています。  
 このマークを付ける事で、求職中の発表者は気軽にキャリアexplorerであることを表明でき、求人側は効率的に声をかけて頂く事が出来ます。

CEマークについて、詳しくは下記URLよりご覧下さい。  
[http://kansai.ipsj.or.jp/sibutaikai\\_ce/](http://kansai.ipsj.or.jp/sibutaikai_ce/)